

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2015年4月2日 送信枚数3枚

【オリコン アニメ視聴に関する意識・実態調査】

日本の誇るべき文化 好きなアニメのタイトルがある人は 70.9%

“いつでも、どこでも”がアニメ視聴の未来像

スマホやタブレット端末の普及でアニメを観る場所やタイミングは変化傾向

外で、ちょっとした時間の合間に観るアニメの新しい視聴スタイルが普及の兆し

世界に誇るべき文化として年々地位が高まる日本のアニメ。日本における市場規模はこの数年増え続けており、2013年には過去最高を記録したとのデータも発表されています。この3月20～22日には、東京ビッグサイトで国内最大級のアニメイベント「AnimeJapan 2015」が開催されましたが、来場者は、第一回だった昨年より1万人以上増加し、目標としていた12万人を突破したとのことです。また、オリコンが1000名を対象に行った調査でも、「好きなアニメのタイトルがあるか」という人は70.9%を占めました。まさにアニメは多くの日本人が関心を寄せる文化であり、ビジネスであると言えるでしょう。そこで、気になるのは、同じように近年急速に伸びるスマートフォンやタブレット端末などモバイル機器の普及との関係です。「AnimeJapan 2015」でも、様々なブースでモバイル機器を使ったサービスの紹介が見られました。アニメ放映の主役であるテレビとの接触時間が減り、新たなチャネルであるモバイル機器の利用時間が増える中で、アニメとの接触の方法は、今後確実に変化していくはずですが。

そこで、オリコンでは、今後のアニメ視聴のあり方を占うために、現状のアニメの視聴実態を調べるべく、「好きなアニメタイトルがある」10～40代の男女709名を対象に意識実態調査を行いました。

調査概要

- ◆調査名： 「アニメ視聴に関する意識・実態調査」
- ◆調査期間： 2015年3月13日（金）～3月20日（金）
- ◆調査対象： 10～40代 男女 計1,000サンプル
- ◆調査方法： インターネット調査
- ◆調査地域： 全国
- ◆調査機関： オリコン・モニターリサーチ
- ◆調査企画： 株式会社 oricon ME

【調査結果と傾向】

1. 好きなアニメのタイトルがある人は 70.9% !
2. タブレット端末やスマホで“いつでも、どこでも”アニメを観る人が増える傾向に
3. “いつでも”を実現するVOD（ビデオオンデマンド）への意向が強い
4. 外で、ちょっとした時間の合間に観る新しいアニメ視聴スタイルが増加予想

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 oricon ME 担当： 細井、高山

TEL 03-6447-0570 / FAX 03-3470-0626 e-mail : cominfo@oricon.jp

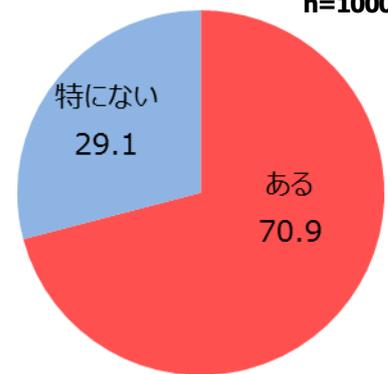
【オリコン アニメ視聴に関する意識・実態調査】 PR事務局 担当 小倉 樋口

TEL 03-5572-7375 / FAX 03- 6674-2730

1. 好きなアニメのタイトルがある人は 70.9% !

今回の調査にあたり、はじめに「好きなアニメのタイトルがあるか」について 10 ~40 代の男女 1000 名を対象に聞きました。その結果、「ある」との答えが 70.9%を占めています。具体的に好きなタイトルがあるとの回答は、単にアニメを受け入れているだけでなく、積極的にアニメを好んでいることを示すもので、アニメが日本の文化としてしっかりと根付いていることが明らかになりました。【グラフ①】

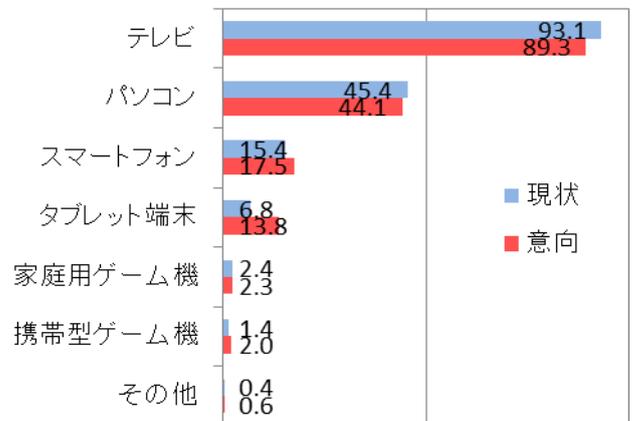
【グラフ①】好きなアニメのタイトルがある n=1000



2. タブレット端末やスマホで“いつでも、どこでも”アニメを観る人が増える傾向に

そんなアニメが好きな日本人がアニメを視聴するにあたって利用するのはどんな機器が多いのでしょうか。調査では、「アニメを視聴する際に使用する機器」について、現在利用しているものと、今後、利用していきたいものを調べました。その結果、現在、今後、いずれにおいても、最も数字が高いのはテレビですが、現在スマートフォンで見ているという人も既に 15.4%います。今後の意向をみると、17.5%とさらに高くなっており、減少するテレビやパソコンとは対照的です。さらに、今後伸びを見せそうなのがタブレット端末です。現状は 6.8%にとどまりましたが、意向では 13.8%と 7.0ポイントの増加傾向が見られます【グラフ②】。

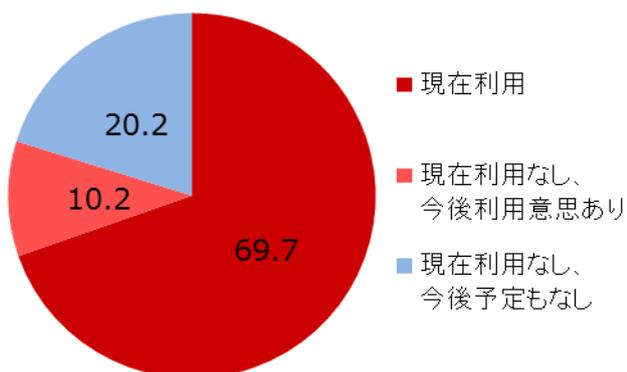
【グラフ②】アニメを視聴する際に使用する機器 n=709



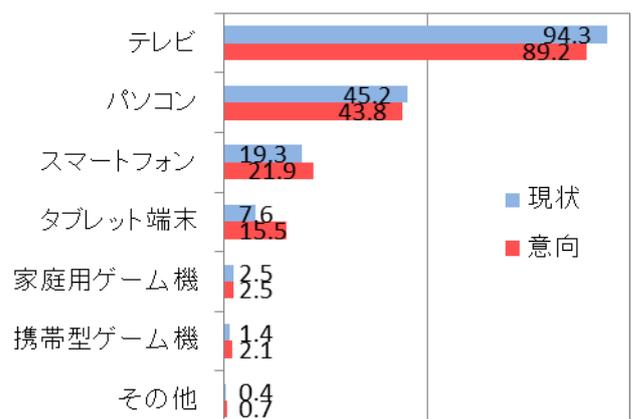
理由としては、「どこでも簡単に観られるから」(20 代女性/東京)、「布団に入って見ることが多く、スマホが便利なので」(30 代男性/東京)、「移動中なども手軽に見たい」(20 代女性/神奈川) など、“いつでも、どこでも”アニメを観たい時に観たいという意識があるようです。

ちなみに、今回の調査対象者のうちスマートフォンを利用している人は 69.7%で、現在は利用していないが、今後スマートフォンを利用しようと思っている人は 10.2%でした【グラフ③】。その 566 人に限定して、今回の調査結果を見ると、スマートフォンでアニメを観ている人は 19.3%とさらに数字は高まり、5 人に 1 人のスマホユーザーがアニメをスマートフォンで観ているとわかりました【グラフ④】。

【グラフ③】アニメを視聴する際に使用する機器 n=709



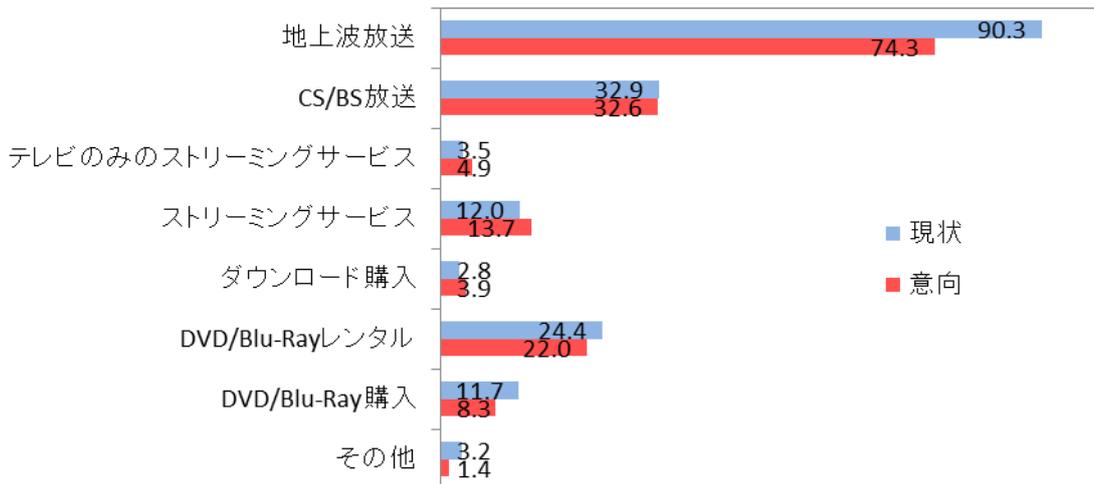
【グラフ④】アニメを視聴する際に使用する機器 n=566



3. “いつでも”を実現する VOD（ビデオオンデマンド）への意向が強い

利用機器とともに、アニメを観る方法も、テレビでの放送や動画配信、DVD など、多様になりつつあります。これについても、現状と今後について調べたところ、現状は地上波放送が 90.3%と最も高い数字となっていますが、今後については、74.3%と 16.0 ポイントの減少となります。その他、CS/BS 放送、DVD/Blu-Ray など軒並み現状から意向でマイナスになりました。その中で上昇しているのが、「テレビのみのストリーミングサービス」、「ストリーミングサービス」「ダウンロード購入」の 3 つです。いずれもインターネットによるオンデマンド方式となるもので、“いつでも”アニメを観たいという意識の高まりが伺えます。【グラフ⑤】

【グラフ⑤】アニメをどのような形で観ますか n=709



※テレビのみのストリーミングサービス (U-Next、ひかりTV等)

※ストリーミングサービス (Hulu、dビデオ等)

4. 外で、ちょっとした時間の合間に観る新しいアニメ視聴スタイルが増加予想

最後にアニメを観るシチュエーションについても、現状と意向の両面で質問しました。結果、「自宅でくつろいでいるとき」が現状の 96.8%から意向の 82.8%と 14 ポイント、「自宅でご飯を食べているとき」が現状の 26.2%から意向の 20.9%と 5.3 ポイントそれぞれ減少するなど、自宅のテレビでアニメを観るといったシーンでの視聴が今後減っていくことが予想される数字となっています。これに対して、数字の上昇が見られるのが「何かの待ち時間中」、「電車・バス等公共交通機関の乗車中」「お風呂に入っているとき」などで、タブレット端末やスマートフォンといったモバイル機器の普及により可能になってきた“どこでも”を享受したいとの意向も育ちつつあることが明らかになりました。【グラフ⑥】

【グラフ⑥】アニメを観るシチュエーションは n=709

